H27.4.29 大崎タイムス

新聞定価　月ぎめ 2,160円（税込）1部売り 80円（税込）　昭和22年5月12日第三種郵便物認可　（日刊）大

全国注目の「樹木葬」が大和町で

県内初の埋葬墓地が「禅興寺」（大和町吉田）に

七ツ森に面した境内南側山林

【黒川支局】大和町吉田の寺院「禅興寺」（梅澤徹玄住職）は4月から、樹木の下に遺骨を埋める「樹木葬」に取り組む。核家族化が進み子孫の管理が行き届かない墓が増えていることを受け、全国で注目が集まっている新たな埋葬方法を取り入れた。費用は35万円で、住所や宗派を問わず受け入れる。県によると、樹木葬墓地は県内で初めて。

七ツ森に面した境内南側の山林約1,000坪を墓地として町に申請し、許可を受けた。国指定天然記念物で日本三大桜の一つとされる「三春の滝桜」の子孫樹13本（高さ約4メートル）のほかコウヤマキ、モミジなどがすでに植えられており、それらのシンボルの木を目印に深さ数十センチの円筒状の穴を掘り、遺骨を埋める。土に返るという考え方から石碑などは設けず、氏名を記した円盤状のコルクを置くだけ。七ツ森の一つ遂倉山と仏教と関わりが深い沙羅双樹の木を組み合わせた芝生の庭園も整備されており、いつでも墓参できるよう遊歩道もある。

禅興寺の樹木葬墓地。春にはサクラが咲く

梅澤住職によると、少子化や非婚化で檀家の中にも後継者がいなくなった墓があるほか、遠方で独立した子孫に手をわずらわせたくないと考える人も増えているという。近年は散骨希望者も多いが、北海道などでは風評被害のトラブルになったケースもあった。

禅興寺の樹木葬墓地は本堂に隣接しており、春はカタクリが咲き、夏にはホタルが飛び交う。檀家になる必要はないが、希望者は寺の供養行事などに参加できる。早ければ5月にも埋葬を始める予定。費用は埋葬費30万円と10年分の管理費5万円で、11年目以降は不要。生前から自然が好きで樹木葬を希望していたという遺族や、遠方で管理できなくなっていた実家の墓を移したいという遺族らからすでに予約が入っているという。

梅澤住職は「家単位の石墓は時代の流れと合わない部分も出てきた。豊かな自然との出会いの場を提供し、第二の古里と縁を結んでもらいたい」と話していた。

詳細は禅興寺ホームページへ。アドレスは「http://zenkoji.etera.jp/」。

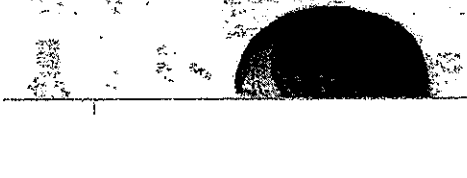
◇樹木葬

墓石の代わりに樹木を墓標とする埋葬方法。シンボルとなる樹木の周りに埋葬する方法と、区域を割って埋葬するたびに低木の苗木を植える方法がある。通常の墓地と同様に墓地埋葬法に基づき自治体の許可が必要。骨の成分であるカルシウムが土を豊かにし、木の成長を促す効果もある。

1999年に岩手県一関市の松雲寺（知勝院）が国内で初めて取り組み、東京都小平霊園など全国約30カ所に広がっている。

シンボルの木を目印に数十センチの穴に納骨／費用35万円

写真の方　1週間以内に大崎タイムス社までご連絡下さい。この写真を記念に差し上げます。また、連絡をいただいた方の中から月間賞も決定します。発表をお待ち下さい。
大崎タイムス社編集局



※「Avain（アバイン）若者会議」で意見交換①＝3月28日、大崎市古川「Cafe Avain」で

スナップチャンス

29日の運勢

竹中無想庵の中国易学無想占術

6月	5月	4月	3月	2月	1月
60	85	50	50	60	45
70	50	85	55	70	60
65	55	80	50	65	85
75	80	60	65	50	75
自己	得意	客観	自尊	家族	無償

（数字は100点満点で

戦後70年企画「遠い記憶